

# 震災やエネルギー問題で立ち止まるのではなく、みずからの知恵や価値を磨くきっかけにしたい。

ヤスハラケミカル株式会社

代表取締役社長

**安原 稔** Teiji Yasuhara



## アジアの好景気に震災の影響が加わり、予想以上の成果を得た2011年

2011年を振り返りますと、4月から9月までの前期は、予想以上の業績をあげることができました。

これは、近年好調な中国を含むアジア向けの輸出関連品の需要がそのまま続いていたことと、地震の影響で原料や部品の調達不足を恐れたメーカーさんが、当初計画より多くの原料や部品を在庫として積み増したことが原因と分析しています。

その後の10月から翌年3月の後期は、ほぼ計画通りに推移しました。

中国を含むアジアの好調は、中長期的・世界的な視点で見ると調整局面に入りつつあると考えていましたが、その予想どおりの結果となりました。

## 目先の事象だけを注視するのではなく、長期的かつ世界的な視野で判断する姿勢が大切

昨年はユーロの信用不安や円高、タイの洪水問題などが複合的に発生し、大きな話題となりました。その結果、多くの企業が海外の進出先を、中国やタイに加えて、ミャンマーやインドネシアなどに拡大する動きもみられます。私は表面的な事象だけにとらわれて、世界経済の大きな動きを見失うのは危険だと考えています。常に世界的な視野で、経済の動きを冷静に見極める眼を持っているものです。今が「行く時か、待つ時か」という判断は冷静に行いたいと考えています。

また原材料費の動きにも注視しています。2002年からはじまった世界的な原材料費の高騰は、2008年のリーマンショックで小休止していましたが、その後また動きはじめています。残念ながら、原材料費に関しては、その動きが实体经济とはかけ離れている部分もあり予想しにくいので、どちらに振れてもよいように準備しておくことが大切と考えています。

## 原発事故で気づかされた 日本製品の真の価値

原発事故は、日本中に暗い影を落としましたが、悪い面ばかりに気を取られても仕方ありません。いいきっかけにしようとする視点こそ大事です。

例えば、原発事故の影響で、多くの日本製品の輸出が危ぶまれたニュースが流れましたが、そうした報道を観て「日本は、こんな製品を輸出していたのか!」「こんなに農作物も輸出していたのか」と気づかされることがありました。外国では、日本人が思っている以上に日本製品の価値を知っているし、それに対する需要もあります。これこそビジネスチャンスです。

また震災や原発事故、電力不足などで、日本人の消費スタイルや生活スタイルも大きく変わろうとしています。この変化も大きなビジネスチャンスでしょう。

世界は日本が原発事故の被害に立ち向かう姿を真剣に観ています。あんな悲劇的な事故からうまく立ち直ることができれば、それは立派な模範になるはずです。その意味で、日本は先頭を走っているのかも知れません。世界に向けて危機脱出のための正しい道を示すことができれば、世界はきっとフォロワーになってくれるはずですよ。

## 消費スタイルや生活を見直し、 日本の文化や価値を見直す きっかけにできないか?

危機から立ち直るヒントは、日本文化の中や、歴史の中にあるかもしれません。

もともと日本には、世界に誇る「リサイクル文化」がありました。それが第二次世界大戦後、アメリカから消費文明や経済第一主義が流れ込んできて、日本中が一斉に利益やコストばかりに眼を向けるようになってきました。

その結果、現状では安売り競争に明け暮れたり、コスト削減ばかりが目標にされるようになってきましたが、そうした消費第一の価値観がすでに限界にきているのではないでしょうか。日本人が昔から行ってきた「知恵を出して使えるものをうまく使い回す」ことができれば、また新しい価値が生まれるかも知れません。

また3年連続で赤字の事業があったとします。合理性第一主義、コスト優先の価値観だけでいうと「撤退」が正しい判断なのでしょうが、耐えて残しているうちに他社が先

に撤退して、自社のシェアが高まり高収益を生む優良事業になることもあります。これも机の上で考えるだけでは生まれぬ価値だと思います。

震災やエネルギー危機を、一元的な見方や消費文明に対する「警鐘」にできないでしょうか。私は、今は立ち止まって、もう一度自分たちの強さや価値を見直す絶好のチャンスと捉えています。

一つひとつの製品や市場を冷静に見つめ直し、それぞれの強さや価値をしっかりと見つめた上で、残していくものや育てていくものを見極めていきたいと考えています。

そして会社は事業で得た価値を社会に還元することが求められていますが、それは単に金銭的な還元ではありません。社員が夢を持って働ける環境を創ることや、夢のある社会づくりに貢献することも還元のひとつでしょう。

私はヤスハラケミカルが、そんな会社が変わっていった欲しいと考えています。

